

しもむら てるお
■ 下村 輝夫

福岡工業大学学長。1971年九州工業大学大学院修士課程修了。1979年工学博士（東京工業大学）。九州芸術工科大学助手、九州工業大学工学部助手、講師、助教授を経て教授。同大学工学部長を経て、2003年10月から2010年3月まで学長。2010年10月から現職。

もりた ゆうすけ
■ 森田 裕介

早稲田大学人間科学学術院教授、大学総合研究センター副所長。1999年東京工業大学大学院社会理工学研究科博士課程修了、博士（学術）。鳴門教育大学学校教育センター助手、長崎大学教育学部講師、米国テキサス大学オースティン校客員研究員、早稲田大学人間科学学術院准教授、マサチューセッツ工科大学客員研究員を経て、2015年から大学総合研究センター副所長。2020年度より現職。専門領域は教育工学、科学教育。2017年度日本教育工学会論文賞受賞。著書として「教育工学研究の方法」（分担執筆、教育工学選書3、ミネルヴァ書房2012）、「ゲームと教育・学習」（編著、分担執筆、教育工学選書II3、ミネルヴァ書房2017）など。

いのうえ まさひろ
■ 井上 雅裕

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特任教授。早稲田大学大学院理工学研究科物理学及応用物理学専攻 博士前期課程修了。博士（工学）、技術士（情報工学部門）、PMP（Project Management Professional）。芝浦工業大学教授、副学長として国際連携、教育の質保証、産学連携等を推進後に、2021年4月より現職。公益社団法人日本工学教育協会理事、国際委員会委員長、工学教育のデジタルライゼーションとデジタルトランスフォーメーションの調査研究委員会委員長。一般社団法人PMI日本支部理事。受賞：工学教育賞（論文・論説部門、2回）、工学教育賞（著作部門）、工学教育賞（業績部門、2回）他。著書として「M2M/IoTシステム入門」森北出版、「組込みシステム」共立出版、「システム工学 一定量的な意思決定法」オーム社、「システム工学 一問題の発見・解決の方法」オーム社、「プロジェクトマネジメント・ツールボックス」鹿島出版会。

おち もえ
■ 越智 萌

立命館大学国際関係学部・国際関係研究科准教授。専門は国際法、国際刑事司法。2015年大阪大学大学院法学研究科博士後期課程修了、博士（法学）。日本学術振興会特別研究員（SPD）、ひょうご震災記念21世紀研究機構主任研究員、京都大学白眉センター特定助教を経て、2020年より現職。主著として、『国際刑事手続法の体系—「プレミス理論」と一事不再理原則』（信山社、2020年）。

やまだ つよし
■ 山田 剛史

関西大学教育推進部教授。2005年神戸大学大学院総合人間科学研究科博士後期課程修了。神戸大学博士（学術）。2005年京都大学高等教育研究開発推進センター教務補佐員、2006年島根大学教育開発センター講師・准教授・副センター長、2011年愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室准教授・副室長、2015年京都大学高等教育研究開発推進センター／大学院教育学研究科准教授を経て、2020年10月より現職。専門は青年発達（心理学）と教育開発（教育学）。初年次教育学会理事、日本青年心理学会常任理事、大学教育学会代議員、日本アカデミック・アドバイザー協会副会長。文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業」プログラムオフィサー、文部科学省「先導的大学改革推進委託事業」選定委員、東山中学・高等学校「土台力教育開発センター」教育顧問など。

あおき よしお
■ 青木 義男

日本大学理工学部学部長。1985年日本大学大学院博士後期課程機械工学専攻修了、工学博士。米国コロラド州立大学工学部航空宇宙工学科客員研究員を経て、日本大学理工学部教授、日本大学理工学部長、日本大学理事（現職）。専門分野は構造力学、安全設計工学、複合材料力学。日本複合材料学会理事、先端材料技術協会副会長などを歴任し、現在、日本建築設備昇降機センター理事、国土交通省社会資本整備審議会・昇降機等事故調査部会委員、建築事故災害対策部会委員、板橋区教育委員などを務める。

やまくち かずのり
■ 山口 和範

立教大学経営学部学部長・教授、理学博士。1990年九州大学大学院総合理工学研究科博士課程単位取得後退学。1990年立教大学社会学部に着任。2006年立教大学経営学部教授。専門は統計学。主著として(1)図解入門 よくわかる統計解析の基本と仕組み—統計データ分析入門、秀和システム 2004年12月、(2)SEM因果分析入門 JUSE-StatWorksオフィシャルテキスト 日科技連出版社 2011年07月。

* 本欄はお書きいただいた資料からできるだけ統一し、掲載しました。